

海外研修・海外セミナー

この夏たくさんの 思い出と数えきれない体験

青少年海外視察研修

マレーシア・シンガポールを視察

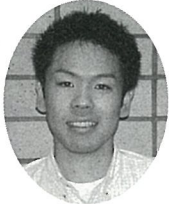
町の将来を担う青少年に、豊かな人格や広い国際感覚を身につけてもらうための研修に、今年12名が参加しました。

8月24日から29日までの間、アジアの異文化に触れました。

体験 レポート

この夏、町の青少年を対象に青少年海外視察研修、中学生海外派遣、B & G体験海洋セミナーが行われました。参加者の体験レポートを紹介します。

海外視察研修に 参加して



団長 長 稗田 哲也
(尾垂六区)

私が海外視察研修に参加して一番実感したのは、価値観、生活環境、文化、言語、人種など、多くの点で

異なっている、人同士が一緒に生活していくためには、協調し合うことが必要だということ。JICA Aマレーシア事務所、ペイフォンハイスクールとの親善交流、ユースチャレンジクラブの訪問等を通じて強く実感させられました。JICA Aマレーシア事務所、幼稚園教諭として活動されている協力隊員のお話を聞いて触れました。マレーシアの教育方針は勉強にか

なり重点を置いているが、一方で生活習慣で自立していない生徒が多いそうです。隊員の方は、マレーシアの学力重視の教育方針を尊重しながら、ゴミ拾い、手洗いの習慣など発達段階にあった教育内容の提案を進めていきたいそうです。私は国ごとに違った教育方針があり、その方針を否定しないで良い点を取り入れていくことで、新しい発見があると実感しました。ペイフォンハイスクールとの親善交流では、自分が想像していた以上に手厚い歓迎を受けました。現地の生徒たちは積極的に私に話しかけてくれ、私の言ったことを熱心に聞こうとしてくれました。自分の言いたいことを伝えるだけでなく、相手の話していることもきちんと聞き入れる姿勢がこの親善交流を通して得ることができました。ユースチャレンジクラブでは、学生達の年齢が私と同年代であったのでより親近感を感じました。自己紹介やゲーム、向こうの料理をいただき、大変充実した時間を共有することができました。



シンガポール マーライオン公園の前で

マレーシア、シンガポールと日本との違いの一つに飲み水があります。現地の生水はそのまま飲むと体調を崩してしまうので、沸かして飲むか、ミネラルウォーターを買って飲まねばなりません。シンガポールでは水が大変貴重で、高い山がないため水を得るのに大変苦労しています。ニューオーターと呼ばれるろ過再処理施設があり、視察をしました。処理された水は水道用に再利用しているそうで、日本でも水不足が深刻になったときがあるので、このような施設があったらよいと思います。

（研修レポートより抜粋）

思い出しました。この研修に参加してみて、日本で生活するのがいかに楽であったかということに気づきました。マレーシアとシンガポールは生活水準が比較的高い国だと思いましたが、日本は食糧問題や医療、衛生問題で苦労せず、宗教の違いによる争いもなく、生活するのに本当に苦労が少ない国だと思います。最後に、研修で体験したこと、学んだことを活かして、これからも様々なことに挑戦していきたいと思えます。